

動物たちともいっしょにセルフィー

パースでは、まだまだいろんな動物たちとセルフィーが撮影できます。そこで、オーストラリアで人気の動物たちといっしょに、本誌読者モデルの小山由香里さんがカバシャム・ワイルドライフパークでセルフィーに挑戦しました。まずは、今回いっしょにセルフィーをした3種類+その他の動物をご紹介します。

今号特集に協力してくれた読者モデル

こやま ゆかり

小山 由香里 さん (28歳)

「世界を見て、経験値を上げたい」ということで、ワーキングホリデービザでオーストラリア・パースへ。日本ではヘッドレスサー、アイリストとし働き、将来は英語圏で自分の店を持ちたいと夢を抱いています。今までは積極的に“セルフィー”をすることはなかったようですが、今回の読者モデルで挑戦してもらいました。



カバシャム・ワイルドライフパーク

ワイナリーで有名なスワン・バレーの一角、ホワイトマン・パーク内に位置している、ワイルドライフ・パーク。西オーストラリアでは最大級で、自国の野生動物たちと出会う。

コアラ+カンガルー+ウォンバット

カバシャム・ワイルドライフパークにいる3種類の人気動物の特徴

コアラ Koala



コアラは有袋目で、野生のコアラの平均寿命は約10年となっています。メスのコアラは、おなかに袋を持っていて、その入口は後足側を向いています。妊娠期間は約35日間で、出産後、子どもは約半年間は

メスの袋の中で育ちます。ユーカリの葉を主食としていますが、そのユーカリの葉に含まれる栄養はほとんどなく、そして他の動物が食べると中毒症状を引き起こしてしまう成分があります。しかし、コアラは中毒症状を分解させることのできる特殊な消化方法を持っているので、食べることができます。また、新陳代謝がとても遅く、1日のうち18時間~20時間も寝て過ごして、体力を保存させています。

カンガルー Kangaroo



パース周辺で見られるのは、主にウエスタン・グレー・カンガルーです。生息場所は、熱帯低木林や森が開けた平地、その海岸線となっています。有袋目で、メスは袋をおなかに持ち、妊娠期間は約1ヶ月間。落花生ほどのサイズで子ども（Joey：ジョーイと呼びます）を産み、目は見えず、毛も生えていません。産まれたばかりの子どもは、袋の中にある乳首から乳を飲み、育ちます。約4~9ヶ月間で発育しますが、その間、子どもは袋の中で過ごします。後ろ足はきわめて力強く、約65kmのスピードで移動することも可能です。草や葉、灌木などの草木を主食としています。

パース周辺で見られるのは、主にウエスタン・グレー・カンガルーです。生息場所は、熱帯低木林や森が開けた平地、その海岸線となっています。有袋目で、メスは袋をおなかに持ち、妊娠期間は約1ヶ月間。落花生ほどのサイズで子ども（Joey：ジョーイと呼びます）を産み、目は見えず、毛も生えていません。産まれたばかりの子どもは、袋の中にある乳首から乳を飲み、育ちます。約4~9ヶ月間で発育しますが、その間、子どもは袋の中で過ごします。後ろ足はきわめて力強く、約65kmのスピードで移動することも可能です。草や葉、灌木などの草木を主食としています。

ウォンバット Wombat



ウォンバットは、穴の中で暮らす有袋類では、最大の動物です。成体の体重は約25kg以上となり、その土地固有の草を主食とする草食性です。有袋目特有の子どもを育てるための袋がおなかにあり、入り口は後足側となっています。子どもは、袋の中にある乳首から数ヶ月間、ミルクを飲み、成長していきます。また、大きな穴に入り組んだかたちで掘り、数匹がそこを住処として暮らします。一番の天敵は、ディンゴ（Dingo：タイリクオオカミの一種で、広義でいう野生犬）ですが、温和に見えるウォンバットも危険が迫ると、時速約40kmの速力で走ることができます。

ウォンバットは、穴の中で暮らす有袋類では、最大の動物です。成体の体重は約25kg以上となり、その土地固有の草を主食とする草食性です。有袋目特有の子どもを育てるための袋がおなかにあり、入り口は後足側となっています。子どもは、袋の中にある乳首から数ヶ月間、ミルクを飲み、成長していきます。また、大きな穴に入り組んだかたちで掘り、数匹がそこを住処として暮らします。一番の天敵は、ディンゴ（Dingo：タイリクオオカミの一種で、広義でいう野生犬）ですが、温和に見えるウォンバットも危険が迫ると、時速約40kmの速力で走ることができます。

© THE PERTH EXPRESS